

平成
30年度
下半期

平成30年10月1日～平成31年3月31日

那珂市の財政事情

問い合わせ

財政課財政グループ
☎298・1111
(内線522・523)

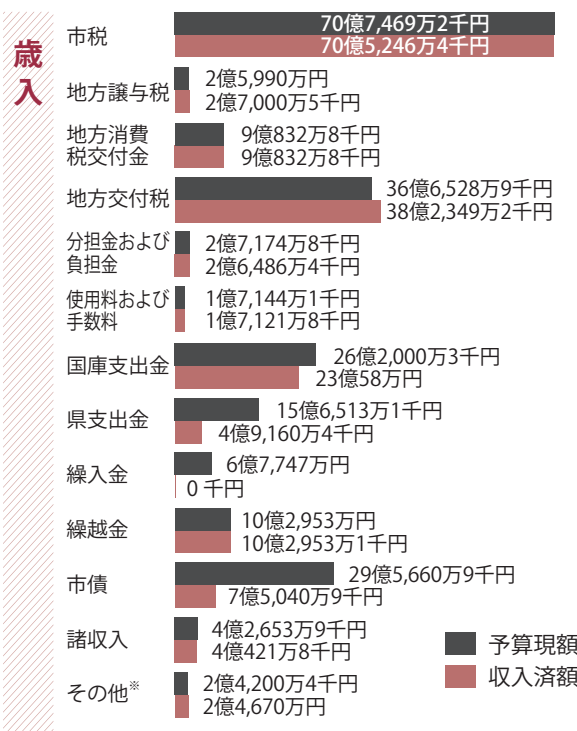
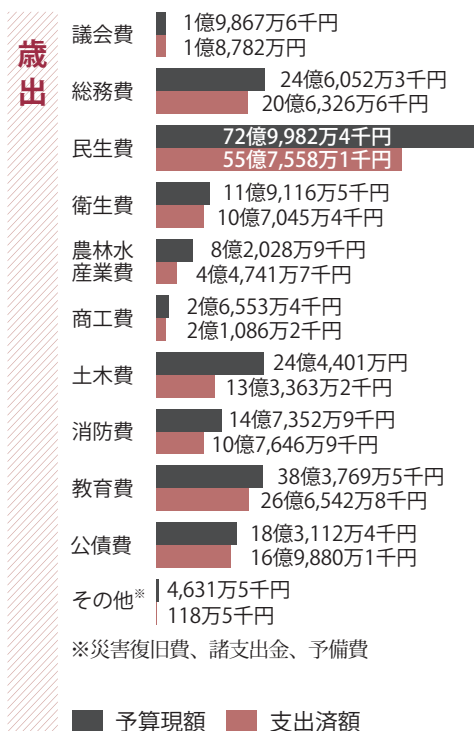
◆一般会計

一般会計は、福祉や教育、土木などに係る市の基本的な経費を計上しています。

歳入では、県支出金の交付や市債の借入れが事務手続きの都合で4月以降になるため、収入割合が低くなっています。

歳出では、出納整理期間※に支払う予定のほか、翌年度に繰り越して行う事業があるため、支出割合が低くなっています。

※出納整理期間とは、会計年度末(3月31日)までに確定した債権・債務を完了させ、現金の未収・未払いを処理するための期間です。翌年度の4月1日～5月31日に設けられているため、最終的な決算額は5月末日に確定します。



※利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、ゴルフ場利用税交付金、財産収入、交通安全対策特別交付金、寄付金

◆特別会計

特別会計は、特定の事業について、特定の歳入歳出により収支経理を行うため、一般会計とは別に設けている会計です。

歳入では、下水道事業などでの市債の借入れや一般会計からの繰入れ、国庫支出金の交付が、歳出では、公園墓地事業での一般会計への繰出しが、それぞれ事務手続きの都合で4月以降になることから、収入・支出割合が低くなっています。



会計名	予算現額	収入済額	支出済額	収入割合	支出割合
一般会計	218億6,868万4千円	177億1,341万3千円	163億3,091万7千円	81.0%	74.7%
特別会計	147億8,079万9千円	112億5,610万4千円	126億6,849万2千円	76.2%	85.7%
国民健康保険(事業勘定)	60億8,911万3千円	53億5,756万4千円	53億5,073万円	88.0%	87.9%
下水道事業	21億9,662万4千円	8億2,354万7千円	17億7,017万6千円	37.5%	80.6%
公園墓地事業	1,256万円	1,581万3千円	283万1千円	125.9%	22.5%
農業集落排水整備事業	11億6,568万7千円	4億5,882万7千円	8億9,579万2千円	39.4%	76.8%
介護保険(保険事業勘定)	45億8,668万1千円	38億8,260万1千円	39億4,784万6千円	84.6%	86.1%
上菅谷駅前地区 土地地区画整理事業	1億439万8千円	1億432万8千円	1億388万8千円	99.9%	99.5%
後期高齢者医療	6億2,573万6千円	6億1,342万4千円	5億9,722万9千円	98.0%	95.4%
合計	366億4,948万3千円	289億6,951万7千円	289億9,940万9千円	79.0%	79.1%

◆歳入歳出予算執行状況

市税負担の状況

税目	収入済額	1世帯当たりの負担額	1人当たりの負担額
市民税	29億8,568万1千円	131,476円	54,511円
固定資産税	32億7,579万7千円	144,251円	59,808円
軽自動車税	1億6,894万3千円	7,439円	3,084円
市たばこ税	3億4,686万1千円	15,274円	6,333円
都市計画税	2億7,518万2千円	12,118円	5,024円
合計	70億5,246万4千円	310,558円	128,760円

※世帯数 22,709 世帯、人口 54,772 人（平成31年3月31日現在）

一時借入金

一時借入金は、会計年度中に収支の不均衡を生じ歳計現金が不足した場合に、一時的に借り入れるもので、当該年度の歳入で返済します。なお、今期の一時借入れは行いませんでした。

市債現在高

市債は、大規模な事業を実施した際に、国や民間の金融機関などから借り入れた資金であり、公債費として支出し返済しています。



区分	平成31年 3月31日現在	増減 (平成30年9月末比)
総務債	4,326万円	△298万円
民生債	1,359万円	△103万7千円
衛生債	1億8,977万3千円	△2,320万4千円
農林水産業債	7,359万円	△1,054万6千円
商工債	1億3,734万円	△763万円
土木債	7億4,017万7千円	△5,470万2千円
河川債	8億6,285万3千円	△3,005万1千円
都市計画債	17億4,942万7千円	△1億2,354万1千円
公営住宅債	3,758万円	△2,895万5千円
消防債	2億9,661万8千円	△2,668万9千円
教育債	15億2,820万1千円	△1億3,118万3千円
災害復旧債	84万円	△14万円
減税補てん債	1億5,931万2千円	△3,205万7千円
臨時財政対策債	101億8,832万8千円	4億730万5千円
小計	160億2,088万9千円	△6,541万1千円
下水道事業債	96億8,734万3千円	△3億9,035万6千円
農業集落排水整備事業債	43億5,987万7千円	△1億64万6千円
土地区画整理事業債	3億6,543万6千円	△4,300万9千円
水道事業債	18億3,722万8千円	5億7,346万7千円
合計	322億7,077万3千円	△2,595万5千円

市有財産現在高

区分	平成31年 3月31日現在	増減 (平成30年9月末比)
土地	179万3,456㎡	△1,868㎡
建物	16万7,550㎡	1,549㎡
有価証券	1,338万6千円	0円
出資による権利	7,731万9千円	0円
債権	1,459万9千円	△972万3千円
基金	76億1,132万円	△4億6,405万円

※水道事業会計分は含まない

【お詫びと訂正】

広報なか平成30年11月号5ページに掲載した「市有財産現在高」表内「基金」の数値に誤りがありました。お詫びして次のとおり訂正します。

○平成30年9月30日現在高
誤…59億7516万8千円
正…80億7537万円

○対前年度下半期増減高
誤…△21億463万2千円
正…△4430万円

水道事業会計

市の水道事業は、民間企業と同様に企業会計が導入されており、独立採算で運営しています。収益的収支は、経常的な業務の収支を示すもので、主な収入は水道料金収入、支出は給水のための経費や人件費、減価償却費などです。

資本的収支は、水道管の布設など建設改良費の収支を示すものです。収支状況の赤字不足分については、内部留保資金などで補うことになります。

区分		予算現額	収入・支出済額	執行率
収益的収支	収入	11億7,309万3千円	12億3,245万5千円	105.1%
	支出	10億6,653万5千円	9億8,954万2千円	92.8%
資本的収支	収入	7億873万8千円	6億5,907万円	93.0%
	支出	12億5,211万円	10億5,033万9千円	83.9%